

各 位

2019年9月11日
株式会社インプレス

作業の時短とメモ術でワークスタイルを改善！
できるポケット全事典シリーズ『パソコン仕事術全事典』『OneNote 全事典』を
9月13日に同時発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、仕事に役立つパソコンやスマホのワザをコンパクトなサイズにまとめた「できるポケット全事典」シリーズの新刊『できるポケット 時短の王道 パソコン仕事術全事典』と『できるポケット 最強のメモ術 OneNote全事典』の2冊を、2019年9月13日（金）に発売いたします。



■机で開いて読みやすい！ 楽しみながら覚えられる時短ワザが満載

『できるポケット 時短の王道 パソコン仕事術全事典』は、パソコン仕事で「時短」に役立つワザをまとめた書籍です。操作の手数を減らす「短縮」、ルール化してムダをなくす「整頓」、ミスを防いで時間損失を抑える「ミス防止」の3原則でワザを分類し、得られる効果がわかるようにしています。

それぞれのワザには、仕事術としてのレベルを7段階で示した本書オリジナルの「時短レベル」も掲載。仕事でパソコンを使うなら常識といえるワザは「一人前レベル」、いつの間にか仕事を終わらせてしまう常人離れしたワザは「仙人レベル」など、楽しみながら読める仕掛けを用意しています。

さらに、本書では背表紙がなく平らに開く特殊な製本様式「コデックス装」を採用。机に置いたときに手で押さえなくても閉じることがなく、パソコンを操作しながら参照するのに最適です。

◇このような人におすすめです

- ・仕事でパソコンを日常的に使うビジネスパーソン
- ・パソコンの効率的な使い方を知りたい人
- ・ケアレスミスを減らしたい人
- ・仕事をすばやく片付けて時間の余裕を作りたい人

001 脱・スタートメニューが時短の第一歩

Lv.2

よく使うアプリはタスクバーからすばやく起動

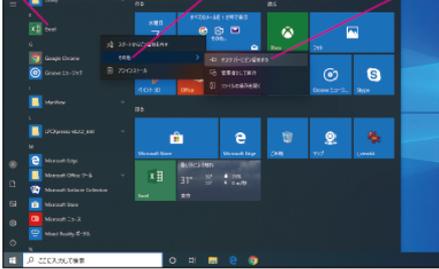
1日の仕事の間に、Windowsのスタートメニューを何回開いていますか？ スタートメニューでは多数のアプリの中から目的のものを選びますが、起動したいアプリが決まってもメニューの開閉などの操作が必要で、手間と時間がかかります。よく使うアプリは一瞬で起動できるようにしましょう。

アプリを速く起動できるようにする方法は「デスクトップにショートカットを置く」と「タスクバーにピン留めする」が代表的です。中でも**多数のウィンドウを開いた作業中にも起動しやすい**こと、ワザ002で解説する作業の再開に便利な「ジャンプリスト」が使えることから、タスクバーへのピン留めをおすすめします。WordやExcelなど利用頻度の高いアプリはすべてピン留めして、**ふだんはスタートメニューを開かないで済む**ようにします。

- **アプリをタスクバーにピン留めする**

スタートメニューを表示しておく

- 1 タスクバーにピン留めしたいアプリを右クリック
- 2 [その他]をクリック
- 3 [タスクバーにピン留めする]をクリック



アプリをタスクバーにピン留めできた



タスクバーからアプリを起動することで、何度もスタートメニューの開閉やスクロールを行っていた手間と時間を節約できます。同時に、「仕事を始めるぞ！」という気持ちがアプリを探しているうちになえてしまう要因が減り、すぐ作業に集中できることも重要なメリットです。

なお、タスクバーにピン留めした左から1～10番目のアプリは、**ショートカットキー [Ctrl] + [1] ~ [0]でも起動**できます ([0]が10番目)。このショートカットキーを有効に使うためにも、タスクバーにピン留めするアプリはよく使うものだけに厳選しましょう。

ポイント

- タスクバーに表示されている起動中のアプリのアイコンを右クリックして [タスクバーにピン留めする] を選択しても、ピン留めできます。
- タスクバーにピン留めされたアイコンを右クリックして [タスクバーからピン留めを外す] を選択すると、ピン留めを解除できます。

ショートカットキー

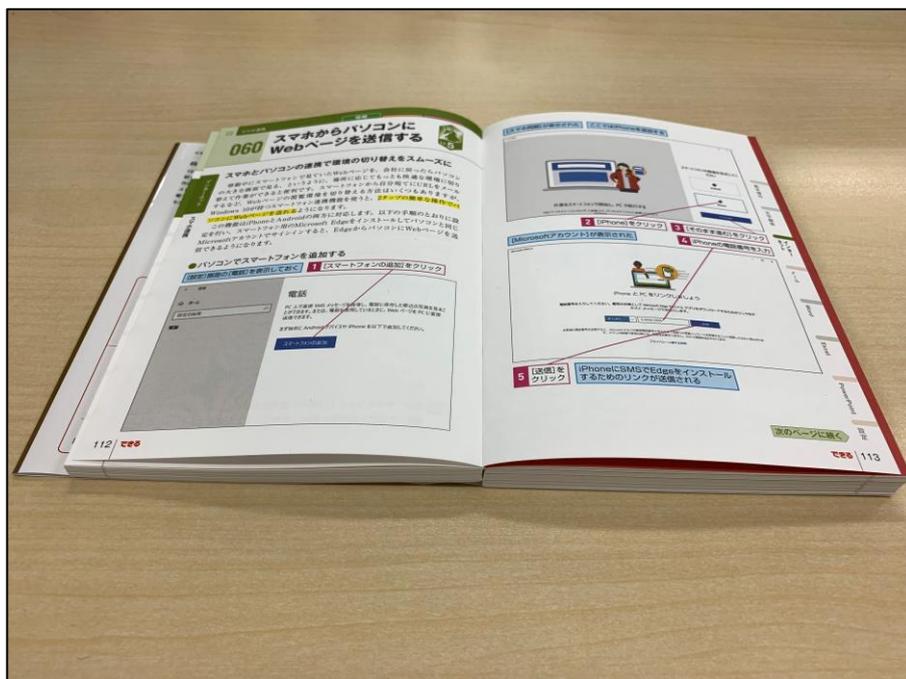
[Ctrl]	スタートメニューを表示する
[Ctrl] + [1] ~ [0]	タスクバーからアプリを起動する

関連

- 002 前日の作業を履歴からすぐに再開する ……P.14
- 003 タスクバーが狭いときはアイコンを小さくする ……P.16

12 **できる****できる** 13

各ワザから得られる効果や「時短レベル」を示したうえで、詳細なやり方を解説しています。



机に開いたまま置ける特殊な製本により、パソコンを操作しながら読み進められます。

■動画で見られるワザも！ ビジネスパーソン注目のメモアプリを全解説

『できるポケット 最強のメモ術 OneNote全事典』は、マイクロソフトが提供するデジタルノートアプリ「OneNote」の解説書です。OneNoteはパソコンやスマートフォンなど複数のデバイスから無料で利用できるほか、Windows 10には標準でインストールされています。テキストや画像、手書きメモなど、さまざまな情報をまとめられるのが特徴で、ビジネスパーソンの注目を集めています。

本書では、一つ一つの操作を実際の画面イメージを用いて説明しているほか、議事録の作成や名刺管理の方法など、ビジネスシーンに特化した活用法も紹介しています。操作を動画で解説したワザもあり、紙面とあわせて見ることで実際の動きが詳細にわかります。

◇このような人におすすめです

- ・紙の手帳を常に持ち歩くのがおっくうな人
- ・パソコンやスマホなど、複数のデバイスを仕事で使っている人
- ・「メモアプリ」の類をこれまでに使ったことがない人
- ・無料で便利なメモアプリを探している人
- ・議事録や名刺、アイデア、Webページなどの記録を効率化したい人

039 画像内の文字をテキストに変換する

画像内に文字があるとき、それをテキストとして読み取ってコピー＆貼り付けできます。**名刺や書類を撮影した写真、Webページの画像**などで活用しましょう。画像内の文字はOneNoteのサーバー上で解析されるため、コピーできるようになるまで時間がかかる場合があります。また、文字の認識精度は画像によって異なり、テキストとしてコピーできない場合もあります。

1 画像内の文字をコピーする

1 画像を右クリック

2 [画像からテキストをコピー]をクリック

画像内の文字がコピーされた

2 文字を貼り付ける

1 文字を貼り付けたい場所を右クリック

2 [貼り付け]をクリック

文字が貼り付けられた

ポイント

- コピー＆貼り付けたテキストは、文字と文字の間に余計なスペースが入ったり、不要な位置で改行されたりしていることがよくあります。貼り付け後に手で整形するといでしょう。

ショートカットキー

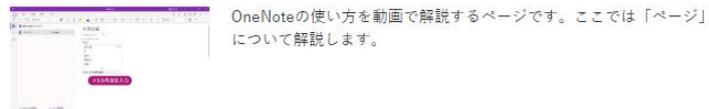
Ctrl + V 文字を貼り付ける

関連 129 名刺のデジタル化で探すイライラを解消 P.217
135 書類は画像やPDFにして紙を処分すればスッキリ P.230

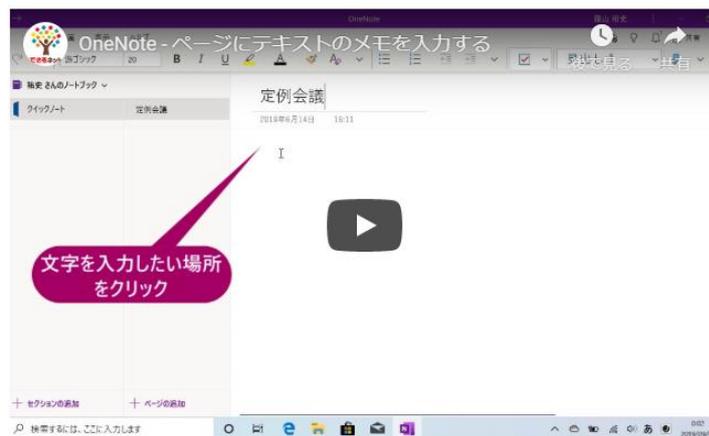
OneNoteの画面イメージを用いて、ビジネスシーンで役立つ使い方を丁寧に解説しています。

ページにテキストのメモを入力する - OneNote 使い方解説動画

OneNote Windows/Office OneNote (2019年版)



ページ
ページにテキストのメモを入力する



紙面のQRコードを読み取ると、動画が掲載された「できるネット」のページにアクセスできます。

■書籍情報



できるポケット 時短の王道 パソコン仕事術全事典
Windows 10 & Office 365/2019/2016/2013 対応

著者：株式会社トップスタジオ&できるシリーズ編集部
定価：本体1,380円＋税
電子版価格：1,380円＋税 ※インプレス直販参考価格
発売日：2019年9月13日（金）

判型：B6正寸
ページ数：288ページ
ISBN：978-4-295-00734-0

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/429500734X/>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1119101037>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500734>



できるポケット 最強のメモ術 OneNote全事典 OneNote for Windows 10 & iPhone/Android対応

著者：株式会社インサイトイメージ&できるシリーズ編集部
定価：本体1,080円＋税
電子版価格：1,080円＋税 ※インプレス直販参考価格
発売日：2019年9月13日（金）

判型：B6正寸
ページ数：240ページ
ISBN：978-4-295-00735-7

- ◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295007358/>
- ◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1119101038>
- ◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500735>

■できるシリーズについて

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

- ◇できるネット：<https://dekiru.net>
- ◇できるシリーズ25周年特設サイト：<https://dekiru.net/25th/>

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：pr-info@impress.co.jp URL：<https://www.impress.co.jp/>